

【提出意見とそれに対する栃木県の考え方】

「とちぎの道路・交通ビジョン2026（素案）」に対する意見募集を行った結果、1名の方及び2団体から計13件の御意見を頂きました。貴重な御意見ありがとうございました。提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。なお、類似の意見については、内容ごとにまとめさせていただきました。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
「とちぎの道路・交通ビジョン2026」全般について	出典や、関連情報を知ることができるようにSNS、WEB等へのリンクを貼るなどして理解が深まるようにしてはどうか。	SNS、WEB等のリンク掲載については、理解促進に有効である一方、リンク切れや内容変更による情報の不整合等など、慎重な取扱いが必要なため、県が管理するサイトのみリンクを掲載します。 栃木県公式ホームページにおいて、関連情報を発信しており、今後とも、理解促進に効果的な情報発信に努めて参ります。
Ⅲ 栃木県広域道路交通計画 2 基本方針に基づく主な具体施策	以下の点について要望する。 ○国の基幹道路である東北自動車道の6車線化、栃木県北地域における国道4号線の全区間4車線化 ○国道121号（栃木西部・会津南道路）、国道408号（常総・宇都宮東部連絡道路）の整備促進、構想路線である仮称「つくば・八溝縦貫・白河道路」・「北関東北部横断道路」の早期事業化	「国際交流拠点や全国とのネットワークの強化」の中で位置付けており、着実に取り組んで参ります。
Ⅱ とちぎの道路・交通ビジョン 6 施策の方向性	○社会資本の維持管理の重要性も記述すべきではないか。 ○エッセンシャルワーカーの確保・維持のためにも、道路・河川・除雪等の維持管理時の写真を掲載してほしい。	「平常時・災害時問わず安定した移動を支える道路空間の維持・強化」を位置付けており、着実に取り組んで参ります。
Ⅱ とちぎの道路・交通ビジョン 3 栃木県の強み	「モノづくり県」の更なる発展に資する道路づくりのページを設けてはどうか。工業団地分布図や工業団地計画地など、とちぎの道路を活用した産業振興のページを作してほしい。	高い定時性と効率的な移動を実現する交通ネットワークの確保により、本県産業の持続的な成長・発展につながることを期待されると認識しております。 御提案については、今後の参考とさせていただきます。
Ⅱ とちぎの道路・交通ビジョン 7 施策の具体例	郊外の見通しのよい平地の直線道路などは、車の横転など想定外の事故が起きる恐れがあるため、道路の無電柱化など必要な対策の検討をお願いしたい。	「安全で賑わいのある暮らしを実現する道路空間の整備」と「平常時・災害時問わず安定した移動を支える道路空間の維持・強化」の中で位置付けており、着実に取り組んで参ります。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
Ⅲ 栃木県広域道路交通計画 2 基本方針に基づく 主な具体施策	「注意喚起看板」や冠水センサーと連動した「自動通報装置」、「路面冠水情報版」が設置されているが、毎年の道路の延長や既存施設の老朽化も進んでいるため、冠水防止の観点から、定期点検と年間予算の範囲で必要なメンテナンスをお願いしたい。	「持続可能で魅力ある都市・地域づくり」の中で位置付けており、着実に取り組んで参ります。
Ⅱ とちぎの道路・交通ビジョン 7 施策の具体例	国の「第1次国土強靱化実施中期計画」と呼応して、危険度に応じ優先順位を付けて、「法枠工」や「擁壁工」、「抑止工」などによる補強工事の検討をお願いしたい。	「平常時・災害時問わず安定した移動を支える道路空間の維持・強化」の中で位置付けており、着実に取り組んで参ります。
Ⅱ とちぎの道路・交通ビジョン 6 施策の方向性	岩手県、宮城県、福島県を震源とする大規模地震においても、バックアップ拠点として地理的優位性があるため、県域を越えた幹線道路網の整備に引き続き推進をお願いしたい。	「県域を越えた連携を支える広域道路ネットワークの強化」を位置付けており、着実に取り組んで参ります。

なお、上記のほか、次のような御意見がありました。今回の意見募集の趣旨には沿いませんので、御意見を伺うのみといたしました。

項 目	意 見 の 内 容
火山砂防事業について	那須岳火山噴火の際に溶岩流により東北自動車道に影響が及ぶといわれているため火山砂防事業の検討をお願いしたい。
栃木県の自転車ヘルメット着用率について	警察庁の調査によると、栃木県の自転車ヘルメット着用率は、13.2%と全国平均の21.2%を下回っているため、県教育委員会などと連携し、着用率アップに結び付ける取組の推進をお願いしたい。
緊急自動車専用路の情報発信について	大規模災害時には、「緊急自動車専用路」は、緊急自動車等のみの通行となるため、平時から県民に、どの道路が「緊急自動車専用路」にあたるのかなど、必要な情報提供いただければ、災害時の混乱が少なく済むものと思料するので、検討をお願いしたい。
栃木県への防災庁の設置について	2025年8月に栃木県への防災庁の設置を求める要望書を内閣府に提出されていることを報道で知り、首都圏に近いという強みを生かして、実現に向けて引き続き働きかけをお願いしたい。
大谷石堀や組積造の土留めについて	大谷石堀や組積造の土留めの危険性を所有者に対して指摘し、改善するようお願いしたい。